

第三次観光振興指針期間中 (2024年度～2026年度)の主な事業について



令和8年8月19日
福岡県商工部観光局



第三次観光振興指針期間中（2024～2026年度）の主な事業について

1 受入環境の充実

■ 宿泊事業者の生産性向上支援

① 宿泊業専門アドバイザー等による生産性向上の伴走支援強化 （2024（R6）～2026（R8）年度実施）

- ・ 「福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター」内に、「宿泊業支援部門」を設置
- ・ 企業診断スタッフによる診断結果を踏まえ、宿泊業専門アドバイザーが現場の実態に合わせて売上向上やコスト削減等の生産性向上の取組を伴走型できめ細かく支援

【実績】 R6年度：35件
R7年度：35件

② 宿泊事業者の生産性向上に資する設備導入等の支援

○ 一般枠 （2024（R6）～2026（R8）年度実施）

【対象】 売上向上やコスト削減等の生産性向上に資する事業

【補助率】 1/2以内

【限度額】 300万円

【実績】 R6年度：34件
R7年度：20件

○ ユニバーサルツーリズム枠 （2025（R7）～2026（R8）年度実施）

【対象】 ユニバーサルツーリズムの推進に資する施設の改修や機器の導入を行う事業

【補助率】 1/2以内

【限度額】 500万円

【実績】 R7年度：5件

第三次観光振興指針期間中（2024～2026年度）の主な事業について

■ ユニバーサルツーリズムの推進

① ユニバーサルツーリズムセミナーの開催

（2024（R6）～2026（R8）年度実施）

- ・ 観光関連事業者（宿泊施設、交通事業者、観光関連施設等）を対象に、ユニバーサルツーリズムへの理解促進を図るためのセミナーを開催

【実績】 R6年度：191名
R7年度：265名



【ユニバーサルツーリズムセミナー】

② 専門アドバイザー派遣による支援

（2024（R6）～2026（R8）年度実施）

- ・ 専門アドバイザーが、観光関連事業者のユニバーサルツーリズム推進に向けたソフト面（従業員研修等）やハード面（施設整備等）の取組へアドバイスを実施

【実績】 R6年度：19件
R7年度：19件



【アドバイザー派遣：視覚障がい体験】

③ ユニバーサルデザイン化整備の支援

（2026（R8）年度実施）

- ・ 県内の観光施設のユニバーサルデザイン化の整備に資する施設改修や機器導入を助成

【補助率】 1/2以内
【限度額】 500万円
【支援例】 ・ 段差の解消
・ 車いす利用者に対応した浴室整備

④ 観光施設やモデルコースの情報発信

（2026（R8）年度実施）

- ・ 国内外からの幅広い観光客誘客のため、福岡県観光情報サイトを活用し、ユニバーサルツーリズムに対応した観光施設やモデルコースの情報を発信

2 観光資源の魅力向上

■ 新たな観光地域づくりの推進（2024(R6)～2026(R8)年度実施）

① 「新たな観光地域づくり検討会」を核とした観光地域づくり

- ・ 県内6地域に広域観光エリアを設定し、県、観光連盟、市町村、観光協会等で組織された「新たな観光地域づくり検討会」を設置
- ・ エリアの特性を活かした観光テーマを設定し、体験プログラムや旅行商品の磨き上げなどを実施

② 観光素材の開発に取り組む観光関連事業者等への支援

- ・ 広域観光エリア内の観光関連事業者等が行う観光資源の魅力向上や受入環境充実、エリア内への更なる誘客、エリア内での観光消費拡大に資する取組を助成

エリア名	構成市町村	観光テーマ
筑前玄海	宗像市、古賀市、福津市、芦屋町、岡垣町	イカのまち
八女・筑後・広川	八女市、筑後市、広川町	クラフトのまち
飯塚・嘉麻・桂川	飯塚市、嘉麻市、桂川町	エネルギーの源があるまち
京築	行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町	神楽の里「鬼すごい京築」
久留米・うきは・朝倉	久留米市、うきは市、朝倉市	ヘルス&ビューティーのまち
日田彦山線沿線BRT ひこぼしライン沿線	東峰村、添田町	ものづくりと修験の文化が 息づくまち

第三次観光振興指針期間中（2024～2026年度）の主な事業について

■ 伝統工芸産地のオープンファクトリー化の推進

① 観光客の受入体制の構築

（2025（R7）～2026（R8）年度実施）

- ・産地の事業者間で協議し、年間を通じて工房見学を受け入れる体制を構築
- ・事業者のパネル等の説明資料の制作や、安全対策を目的とした施設改修等に助成
【支援例】・制作工程の解説パネルや生地等の実物を展示したギャラリー整備
・インカム機器の導入や解説動画視聴用のモニター設置
- ・福岡県観光情報サイト内に各工房の特色や見学内容を紹介する特設ページを開設



【特設ページ】

② オープンファクトリーの情報発信

（2026（R8）年度実施）

- ・オープンファクトリー化した久留米絨産地の工房見学や製作体験などの情報を国内外に向けて発信
【内 容】・インバウンド向けWEBメディアでの記事掲載
・県内ホテルのコンシェルジュ向け体験ツアーの開催
・国内外の旅行者向けリーフレットの作成
・伝統工芸に関心のある国内外の旅行者を対象としたターゲティング広告



【久留米絨の藍染体験】



【小石原焼の工房見学】

産地	R 7	R 8
久留米絨	① 観光客の受入体制の構築	② オープンファクトリーの情報発信
小石原焼		① 観光客の受入体制の構築

3 戦略的なプロモーション

■ インバウンド誘客の推進

① 欧米豪における認知度向上と旅行傾向・嗜好に合わせた誘客促進（2024（R6）～2026（R8）年度実施）

- ・ 英・仏・米・豪に設置している本県の観光誘客拠点を通じ、現地旅行会社の招請や観光セミナーの開催等により、現地旅行会社が企画する旅行商品の造成・販売を支援

② アジアからの誘客及び県内周遊の促進

2024（R6）～2026（R8）年度実施
※広域観光エリア動画の配信は2025（R7）まで

- ・ 台湾・香港・韓国で人気のインフルエンサーを活用し、県内6つの広域観光エリア動画を配信
- ・ 台湾・韓国・タイにおいて、現地旅行会社と県内観光事業者との商談会を開催



【インフルエンサー配信動画】

③ インフルエンサーを活用した中東からの誘客促進（2025（R7）～2026（R8）年度実施）

- ・ イスラム圏出身のインフルエンサーを活用し、中東向けに本県の観光の魅力やムスリムに対応した飲食店等を紹介

④ 訪日客向け「Go! Fukuoka」観光キャンペーンの実施（2026（R8）年度実施）

- ・ 訪日客を呼び込むため、海外の旅行予約サイトを活用し、県内宿泊施設（政令市を除く）に宿泊した訪日客に対し、宿泊代金の一部を助成
【補助額】定額3,000円/泊 【時期】令和8年7月～令和9年2月
- ・ 訪日客の県内周遊を促進するため、海外の旅行予約サイトを活用し、訪日客向け「よかバス」の利用者に対し、料金の一部を助成
【補助率】料金の1/2 【時期】令和8年7月～令和9年2月
- ・ 海外の旅行予約サイト内に特設ページを開設するなど、キャンペーンのプロモーションを実施



【特設ページのイメージ】

第三次観光振興指針期間中（2024～2026年度）の主な事業について

■ 伝統工芸品の魅力発信

① 「福岡伝統工芸ファンクラブ」創設

（2024(R6)～2026(R8)年度実施）



- ・ 県内の伝統工芸品のファン獲得・産地活性化を目的に、Instagramアカウント「福岡伝統工芸ファンクラブ【公式】」を創設し、伝統工芸品産地の紹介及びイベント情報を発信

【実績】 5,590フォロワー（R8.3.31時点）

② フランス・パリにおける伝統工芸品のテストマーケティングの実施

（2024(R6)～2026(R8)年度実施）

- ・ 県内の伝統工芸品の海外販路開拓を支援するため、欧州でも特に伝統的な日本文化への関心が高いパリにおいて、テストマーケティングを実施

【事業者】 上野焼、小石原焼、高取焼、久留米絣、小倉織、掛川 等

【実績】 R6年度：13事業者

R7年度：17事業者



【パリでのテスト販売】

③ 観光施設等の伝統工芸品の導入を支援

（2025(R7)～2026(R8)年度実施）

- ・ 県内の伝統工芸品の魅力を発信するため、観光施設等への内装・建築工事における伝統工芸品を組み込んだ部材の使用や伝統工芸品の導入を助成

【対象施設】 観光施設（宿泊施設を含む）、商業施設、公共施設等

【対象事業】 ・ 内装工事

・ 伝統工芸品の購入

・ 伝統工芸産地への誘客推進に係る情報発信

【実績】 4件



【博多織のれん（大丸別荘 玄関）】

■ 観光客の県内周遊・宿泊の促進

① 閑散期平日の宿泊を促進

（2024（R6）～ 2026（R8）年度実施）

- ・ 閑散期における旅行需要の喚起及び休日や都市部に集中する宿泊者の分散化を図るため、閑散期の平日における県内宿泊施設（政令市を除く）への宿泊者に対し割引支援を実施

【期 間】 5月～7月（GW後から夏休み前まで）

12月～2月（年末年始を除く）

※2024（R6）年度は、12月～2月のみ実施

【対 象】 県内宿泊施設（政令市を除く）、旅行会社

【割引率】 宿泊・旅行代金の総額20%（1人1泊あたり最大3千円）



② 県内周遊バス旅行商品「よかバス」の実施

（2024（R6）～ 2026（R8）年度実施）

- ・ 県内周遊バス旅行商品サイト「よかバス」を開設し、バス旅行商品を造成する県内旅行会社を助成

【対 象】 県指定の6エリア又は「西の都」の観光素材を行程に含むバスツアー

【助成額】 日帰り 5万円、宿泊 10万円

- ・ 「よかバス」商品のプロモーションを実施
TV、Web広告、新聞広告など各種メディアを活用

- ・ 旅行会社と市町村等の商談会を開催

【時 期】 年2回（5月：秋冬商品向け、11月：春夏商品向け）各2日開催



【よかバス】

第三次観光振興指針期間中（2024～2026年度）の主な事業について

■ 食の王国・福岡の魅力発信

① 九州7県で大阪・関西万博に合同出展（2025（R7）年度実施）

- ・ 「食の王国・福岡」をテーマとしたブースを出展し、福岡県自慢の食材を使ったお弁当の販売や、県産酒・八女伝統本玉露の試飲、農林水産加工品や伝統工芸品の販売を行うとともに本県魅力を映像で紹介



【福岡県のブースの様子】

② グルメ情報サイト「ラ・リスト」のイベントに出展（2024（R6）～2026（R8）年度実施 ※パリ出展は2025（R7）年度～）

- ・ 世界的なグルメ情報サイト「ラ・リスト」が主催する東京、パリのイベントにブースを出展し、「福岡の食」の魅力を引き出す料理や、八女茶、県産酒などを提供し、「食の王国・福岡」の魅力を発信



【東京イベントの様子】

③ 新潟県との観光分野の連携（2025（R7）～2026（R8）年度実施）

- ・ 新潟と福岡両県の連携を踏まえ、福岡県の食や伝統工芸など様々な魅力を体験できる旅行商品の造成を促進するため、新潟県の旅行会社に対しモニターツアーを実施

【実績】 R7年度：【参加事業社】10社
 【視察先】酒蔵、八女茶すすり茶体験（八女市）、
 夜のいちご狩り（うきは市）、久留米絃工房（広川町）
 小石原焼・高取焼窯元（東峰村）、宗像大社（宗像市）



【八女茶のすすり茶体験】

■ 県内温泉地への誘客強化

① 「福岡の食と温泉コンシェルジュ」を設置

（2025（R7）～2026（R8）年度実施）

- ・ 外国人観光客に対し本県の食と温泉地の魅力を案内することで、認知度向上および誘客促進を図るため福岡空港国際線観光案内所に「福岡の食と温泉コンシェルジュ」を設置

【設 置】 令和8年2月2日（月）～
（開設時間：8時～21時）

【内 容】 ・ コンシェルジュによる案内
・ 食と温泉を紹介する多言語パンフレットの配架
・ デジタルサイネージでのPR動画放映

② 県内温泉施設に宿泊する県外発バスツアーの造成を支援

（2025（R7）～2026（R8）年度実施）

- 【対 象】 県内温泉施設（政令市除く）に宿泊する県外発バスツアー
- 【要 件】 参加者20名以上、県が別に定める観光施設・観光素材等を1か所以上訪問
- 【助成額】 バス1台あたり 10万円（定額）
- 【実 績】 R7年度：69件（令和7年10月15日～令和8年2月12 出発分）

③ 温泉地への宿泊を促すイベントの開催

（2025（R7）～2026（R8）年度実施）

- ・ 温泉地のさらなる賑わい創出と誘客促進を目的に、原鶴温泉において地元と連携し「原鶴湯ったりよかせ祭り」を開催し、夜間と早朝に楽しめる催しを実施

【実 績】 R7年度： ・ キッチンカー、地元酒造会社などの出店
・ デジタルスタンプラリー
・ 水辺広場、河川敷のライトアップ
・ 宿泊者向け筑後川遊覧船 など
（令和7年7月26日～8月31日に開催）



【水辺広場ライトアップ】



【筑後川遊覧船】

第三次観光振興指針期間中（2024～2026年度）の主な事業について

4 観光振興の体制強化

■ 宿泊業の人材育成・雇用促進

① 宿泊業の人材不足解消に向けたインターンシップの導入支援、合同会社説明会の実施

（2024（R6）～2026（R8）年度実施）

- ・ 人材不足が深刻化する宿泊業への雇用を促進するため、インターンシップの導入支援や、県内外の学生・転職希望者を対象とした合同会社説明会を開催

	事業者向け人材確保支援セミナー		インターンシップマッチングイベント		合同会社説明会	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
R6年度	4回	51名	2回	26社・104名	3回	56社・231名
R7年度	4回	64名	2回	30社・218名	3回	54社・431名

② 宿泊施設従業員を対象としたおもてなし研修の実施

（2024（R6）～2026（R8）年度実施）

- ・ 県内宿泊施設におけるおもてなし力を磨くため、宿泊施設従業員を対象とした研修を実施

【内 容】 接客・接遇スキルの向上、多様なニーズへの対応 等

【実 績】 R6年度：288名（対面型8回、オンライン10回）

R7年度：118名（対面型6回 ※後日オンデマンド配信）



【合同会社説明会】

第三次観光振興指針期間中（2024～2026年度）の主な事業について

■ 食の多様性対応の推進

① 飲食店等へ啓発セミナー・専門家によるメニュー開発支援

（2024（R6）～2026（R8）年度実施）

- ・ベジタリアン・ヴィーガン、ムスリム等の「食の多様性」を普及・啓発するため、飲食店や宿泊施設を対象に、試食体験セミナーの開催や専門家によるメニュー開発に向けた個別支援を実施

○ 普及啓発セミナー

- 【内 容】・ベジタリアン・ヴィーガン、ムスリム等の基礎知識
・事例店舗紹介
・食の多様性に対応したメニューの試食体験 等

【実 績】 R6年度：138名（全2回開催）

R7年度：281名（全4回開催）

○ メニュー開発に向けた個別支援

- 【内 容】・食材・調味料のチェックや仕入先の開拓
・多言語メニューやポリシー作成
・開発メニューの試食・テスト販売の実施 等

【実 績】 R6年度：16件

R7年度：22件



【ヴィーガン会席】

② 食の多様性に対応する飲食店情報を発信

（2025（R7）～2026（R8）年度実施）

- ・福岡県観光情報サイトにベジタリアン・ヴィーガン、ムスリム等が安心して利用できる飲食店情報を掲載する特設ページを開設し、6言語（日・英・韓・簡・繁・仏）で情報発信

【掲載店舗数】 61店舗



【県観光情報サイト内 対応店舗紹介ページ】

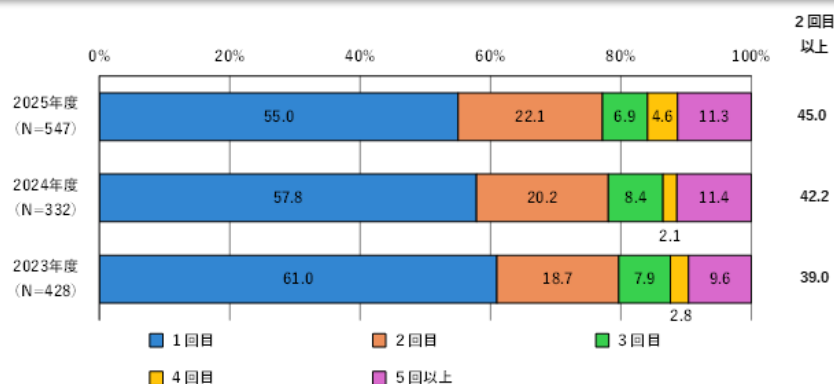
第三次観光振興指針期間中（2024～2026年度）の主な事業について

■ 観光ビッグデータを活用した旅行実態の把握（2024（R6）～2026（R8）年度実施）

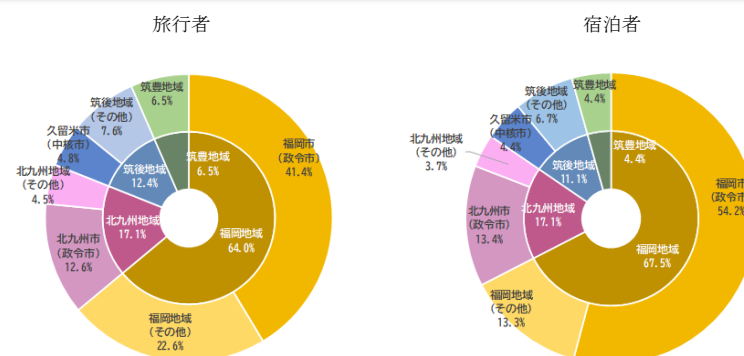
- アンケートや携帯電話の基地局データ等を活用し、旅マエ、旅ナカ、旅アトにおける観光客の旅行実態や、観光客の本県での周遊状況等について調査

調査項目	調査方法等
認知度・来訪者意向調査	旅マエ、旅ナカの情報収集方法や観光地等の認知度、来訪意向等についてアンケート調査を実施
来訪者動線調査	福岡を来訪した観光客を対象に、来訪回数、来訪場所、満足度、再訪意向等についてアンケート調査を実施
携帯電話の基地局データを用いた周遊状況調査	県内市町村における観光客の属性や来訪・宿泊、周遊の状況を調査
観光スポット口コミ調査	地図アプリの県内観光スポットの口コミを収集し、口コミ投稿数や、評価点を分析、観光地の拠点性や、言語別の評価、満足度等の現状を調査
クレジットカード消費動向調査	金融機関のカード決済データを活用し、外国人観光客の国別、業種別の消費動向を調査

訪日観光客の福岡県来訪回数（来訪者動線調査）



国内旅行者の県内地域別構成比（携帯電話の基地局データを用いた周遊状況調査）



第三次観光振興指針期間中（2024～2026年度）の主な事業について

■ 福岡県宿泊税交付金の県内市町村への交付（2024（R6）～2026（R8）年度実施）

- ・ 地域の実情を踏まえ、創意工夫を凝らした市町村の施策を支援するため、「福岡県宿泊税交付金」を交付
※独自に宿泊税を課す福岡市、北九州市は交付対象外

【交付金の活用事例】

1 受入環境の充実

- ・ キャンプ場や公園等の整備
- ・ 公衆トイレの洋式化工事
- ・ 観光スポットの駐車場整備、照明設備整備、Wi-Fi環境整備
- ・ 観光地の交通渋滞を緩和するため、無料シャトルバスを運行



【公園の整備】



【シャトルバスの運行】

3 効果的な情報発信

■ 観光資源の情報発信

- ・ 観光パンフレット等の刷新、多言語化、デジタル化
- ・ テレビ等のメディアを活用した情報発信
- ・ 観光PR動画の作成
- ・ 海外現地でPRイベントの開催

■ 集客イベント・キャンペーン等の実施

- ・ 観光施設での集客イベントの開催
- ・ 観光客周遊促進のための割引クーポン発行
- ・ 宿泊促進のためのキャンペーン実施



【海外でのPRイベントの開催】

2 観光資源の魅力向上

- ・ 夜間の賑わい創出を目的とした観光施設のライトアップ
- ・ 観光施設における体験コンテンツの制作
- ・ サイクルステーションの整備、路面標示整備



【観光施設のライトアップ】



【VR映像コンテンツの制作】

4 観光振興の体制強化

- ・ 専門知識を有するアドバイザーの活用
- ・ 観光協会を中心としたDMO構築に向けた取組
- ・ ビッグデータを活用し旅行者の属性や周遊状況等を調査



【DMO構築を目的とした研修会の開催】